

第8回 議会報告会 & 意見交換会



©東京ハイジ／二宮町

平成28年11月

平成27年度決算

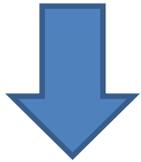
事業名	区分	決算額	対26年度比較
一般会計	歳入	81億4,102万円	3.20%
	歳出	78億7,305万円	3.40%
国民健康保険(特会)	歳入	39億4,258万円	16.90%
	歳出	38億7,687万円	21.10%
後期高齢者医療(特会)	歳入	7億8,719万円	2.10%
	歳出	7億5,673万円	2.10%
介護保険(特会)	歳入	22億7,421万円	3.10%
	歳出	21億8,733万円	0.60%
下水道事業(特会)	歳入	9億6,021万円	-2.20%
	歳出	9億5,193万円	-1.50%

平成27年度予算・決算

村田町長町政後初めての予算

平成27年度主な新事業(前町長町政時の議論も含め)

- 小児医療費助成を中学校3年生まで拡充
- ITふれあい館をラディアンに移転し、保育施設を民間事業者と連携し整備
- 不育症治療費助成
- 敬老祝い金見直し、在宅介護奨励金廃止、介護人材育成に予算シフト



決算議会での質疑及び議論

- 医療費助成で所得制限の見直し、また逆に助成の問題点
- ITふれあい館の移設及び駅前保育施設開設に関しては評価
- 在宅介護奨励金廃止の見直し
- 介護人材育成事業の執行率低く、効果上げる工夫

平成27・28年地方活性化に向けた国の補助事業

平成26年3月に補正予算となり27年度で執行する繰越事業(平成27年度決算)

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金

(「地方創生先行型(29,735千円)、地域消費喚起・生活支援型」(32,291千円))

- 総合戦略策定事業(10,000千円)
- 住宅ストック管理流通活用事業(11,735千円)
- 同居・近居推進事業(住宅リフォーム等補助金)(8,000千円)
- 地域消費喚起・生活支援事業(プレミアム商品券発行)(32,219千円)



平成27年3月に補正予算となり28年度で執行する繰越事業(平成28年度決算)

地方創生加速化交付金(50,254千円 → 30,054千円)

- 安心して住み続けられる地域再生事業(30,054千円)
- 「にのみやLife」全国シティープロモーション事業(20,200千円)
(最終的に国補助金得られず、町・県事業となる予定)

第5次総合計画前期基本計画に基づいた 総務建設経済常任委員会所管重点方針及び平成27年度重点施策

まちづくりの方向性

重点的方針

平成27年度重点施策

生活の質の向上と
定住人口の確保

- 1 高齢者等の安心な暮らし支援
- 2 子育て・子育て支援と教育・学習環境の充実
- 3 協力と支え合いによる福祉のまちづくり
- 4 子育て世代の定住促進

- ・空家対策と住環境の整備による定住促進

環境と風景が息づく
まちづくり

- 1 二宮の自然、文化、住環境の魅力づくり
- 2 「二宮ブランド」の開発と活性化
- 3 「みんながスポーツ」による健康づくりと賑わいの創出
- 4 多様な観光メニューの開発による観光の振興
- 5 交流拠点の創出

- ・ごみ処理広域化による円滑なごみ処理推進

交通環境と防災
対策の向上

- 1 「二宮の顔」づくり＝駅北口整備
- 2 コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
- 3 「安全・減災都市二宮」づくり

- ・防犯灯のLED化
- ・住宅耐震改修補助
- ・地域公共交通推進

戦略的行政運営

- 1 スリムで効果的な行財政運営確立
- 2 総合計画に基づいた政策マネジメントの推進
- 3 広域行政による自治の推進
- 4 「二宮PR」大作戦の展開

- ・総合戦略と連携した総合計画の推進

総務建設経済常任委員会所管 重点施策に基づいた事業決算について

重点施策の各事業と決算額

- 住宅リフォーム助成事業(2,700千円) 一般:48件、定住促進3件
 - 同居・近居推進事業(1,793千円「予算:8,000千円、全て国支出金」)
 - 住宅ストック管理流通活用事業(8,500千円)
- ウッドチップセンター運営事業(総額:34,734千円、二宮町負担額:3,547千円)
- 防犯対策事業(防犯灯LED化)2,330灯借り上げ料2,043千円
 - 住宅耐震診断等事業(2,700千円)耐震診断補助7件、耐震改修工事補助2件
 - 地域公共交通推進事業(1,991千円)
(デマンドタクシー負担金852千円、利用者:1,745人、運行便数:1,549回)
 - コミュニティバス運行事業(12,638千円)経費変わらず利用者数:改変前>改変後
- まちづくり総合調整事業(2,835千円) 総合計画基本中期計画策定費及び公共施設再配置・町有地有効活用等検討委員会など委員会運営費
 - 総合戦略策定事業(9,834千円)
 - 広報広聴事業(10,975千円)の内、平成27年度の特徴的なものは、
ホームページリニューアル費(4,258千円)
プロモーション動画作成料(1,998千円)

第5次総合計画前期基本計画に基づいた 教育福祉常任委員会所管重点方針及び平成27年度重点施策

まちづくりの方向性

重点的方針

平成27年度重点施策

生活の質の向上と
定住人口の確保

- 1 高齢者等の安心な暮らし支援
- 2 子育て・子育て支援と教育・学習環境の充実
- 3 協力と支え合いによる福祉のまちづくり
- 4 子育て世代の定住促進

- ・介護保険料の見直し
- ・小児医療費助成の拡充
- ・放課後児童対策の充実

環境と風景が
息づくまちづくり

- 1 二宮の自然、文化、住環境の魅力づくり
- 2 「二宮ブランド」の開発と活性化
- 3 「みんながスポーツ」による健康づくりと賑わいの創出
- 4 多様や観光メニューの開発による観光の振興
- 5 交流拠点の創出

- ・放課後子ども教室の推進
- ・スポーツ活動の推進による健康づくり支援

交通環境と防災
対策の向上

- 1 「二宮の顔」づくり＝駅北口整備
- 2 コンパクトな町に相応しい「みんなの交通環境」整備
- 3 「安全・減災都市二宮」づくり

- ・災害に強いまちづくり
(災害時の要援護者支援)

戦略的行政運営

- 1 スリムで効果的な行財政運営確立
- 2 総合計画に基づいた政策マネジメントの推進
- 3 広域行政による自治の推進
- 4 「二宮PR」大作戦の展開

- ・情報発信力の強化

教育福祉常任委員会所管 重点施策に基づいた事業決算について

- ・学童保育所維持管理経費 15,443千円
- ・小児医療費助成事業 68,935千円
- ・子ども子育て支援給付**経費** 347,041千円
保育所等整備事業（みちる愛児園駅前ナーサリー16,500千円）
- ・一時預かり事業(百合ヶ丘保育園、栄通り子育てサロン) 7,195千円
- ・二宮小学校教育施設整備事業30,726千円(太陽光発電設計・設置他)
- ・西中バリアフリー化改修工事15,130千円(昇降機、トイレ改修、手洗い場他)
- ・一色小学校区地域再生協議会(27年度補正)
(友情の山、文化イベント振興、地域福祉、県住宅供給公社、古民家活用、
地域課題検討)
- ・温水プールを活用した「水中教室委託事業」13,796千円
(一時予防事業対象者介護予防事業737千円)
- ・介護人材確保支援事業 3,397千円(**介護人材育成経費補助金60千円**)

二宮町公共施設の将来構想について

現状と課題

- 公共施設は合計66施設（地域集会施設:25(内防災コミュニティセンター:6) 学校:5、消防分団詰所:5、その他スポーツ施設、庁舎等:45)
- 公共施設白書が作成され(平成25年3月)情報の概要は把握できる
- 公共施設の老朽化は顕著(高度成長期に多くは建設された) 耐震化できていない施設もある
- 公共施設再配置に関する基本方針策定(平成25年10月) **公共施設三原則、50年間の更新費用245億円、内64億円しか確保できない(試算)**
- パークタウン構想に基づいたからか?? 公共施設は分散化している
- 未利活用町有地がある: 東大跡地、国立小児病院跡地、役場裏正泉寺跡地
- 生徒数の減少が顕著、学校についても検討が必要
- 公共施設再配置・町有地有効活用については協議会等で数年議論してきたが方針出ず



公共施設の将来構想について意見交換しましょう、たとえば

- 町庁舎の移設
- 公共施設の集約化(人口減少に伴うコンパクトシティ化)
- 学校の統合、小中一貫校、学校の複合化(こども園や集会施設併設) などなど!!

地域と学校のあり方について

現状と課題

- ・ 二宮町は人口減少とともに、学校間の生徒数、クラス数など大きな偏りが出ている。
 - ※ 資料1 二宮町立小・中学校 児童・生徒数
 - ※ 資料2 法令等から見た適正規模について
- ・ 教育委員会では、一色小学校をコミュニティスクール化するための準備が進められている。
 - ※ 資料3 コミュニティスクールとは
- ・ 一色小学校区地域再生協議会が設立された。
友情の山・文化イベント振興・地域福祉・県住宅供給公社・古民家活用・地域課題検討の6部会



地域と学校のあり方について意見交換しましょう、たとえば

- 学校の統合、小中一貫校、学校の複合化、地域コミュニティ（こども園や集会施設併設） などなど！！